

地域のデザイン力で
ものづくりの付加価値を



市長が、旭川のまち・人・物などについて思うことをお伝えします。

夜間・休日等の当番医は

北海道救急医療情報案内センター
一般電話からはフリーダイヤル
0120・20・8699
携帯電話からは
011・221・8699

旭川市医師会
携帯版



市の主な相談窓口

※開設日時は窓口によって異なります。

- 子供に関する相談や
児童虐待の通報・相談
26・5500
- 女性が抱える問題や
配偶者等の暴力の相談
25・6418
- ひとり親家庭等の相談
25・9107
- 高齢者の介護に関する相談
25・9119
- 障害がある方の総合相談
73・5936
FAX 73・5937

子供からの相談電話

子どもホットライン (無料)
こども そうだん でんわ
こんには コール
0120・528506
平日午前8時45分～午後5時15分
げつ もくようび ごと じ ふん
(月・木曜日は午後8時まで)

表紙の 写真



旭川製品のパッケージを手掛けた、市内のデザイナーの細谷 望さん(左)、坂井寿香さん(中央)、ゲンママコトさん。商品はデザインの力でさらに魅力を増しています。

北海道らしい爽やかで気持ちの良い日が増えてきました。私は、今月はじめの大型連休の期間中、姉妹都市である鹿児島県南さつま市からお招きをいただき、同市を代表するイベント「吹上浜 砂の祭典」に参加してきました。緻密に作り込まれた砂像や地元の特産品を目当てに、たくさんの方が来場されていました。私が、砂丘の砂を見事に活用したにぎわい創出の手法に、



地域の特色ある資源をまちづくりを生かすことの大切さを改めて実感しました。さて、古くから家具産業が栄え、国内有数の家具産地として知られている本市にとつて、蓄積された高度な技術と優れたデザイン性を誇る旭川家具は、重要な地域資源の一つです。

来月には、今回で10回目となる国際家具デザインフェア旭川が行われますが、

世界中から応募があったデザインコンペティションの入賞作品の展示やパネルディスカッションなどが予定されており、優れたデザインに触れ、理解を深める良い機会となります。

これからも、地域のデザイン力の底上げを図り、貴重な地域資源である家具をはじめ、ものづくりへの付加価値をさらに高め、元氣な旭川を目指していきたいと思っています。

西川 将人

クイズに答えて プレゼントを 当てよう!



- 問題 今月号の特集のタイトルは「〇〇づくりとデザイン」です。〇〇に入る言葉は?
- 応募方法 はがきかファックス、電子メールに、答・住所・氏名・年齢・電話番号と広報誌を読んだ意見や感想、取り上げてほしいテーマなどを記入して、5月末日までに下記の応募先へ。正解者の中から抽選で10人に、旭川産のアロニアを使った、ドレッシングとジャムのセットをプレゼント。4月号の正解は「あさ」、応募は236通でした。
- 応募先 〒070-8525 旭川市6条通9丁目旭川市役所広報広聴課「広報クイズ係」
FAX 25・6515 ✉ kohoquiz@city.asahikawa.hokkaido.jp



旭川市の広報番組

テレビ

- **マイタウンあさひかわ** (手話通訳付き) HBC
5月28日(日)
午前6時30分～45分
「旭川の魅力をデザインで発信! (仮題)」
- **旭川市民ニュース** STV
毎週土曜日
午前11時54分～58分
- **わくわくライブ旭川**
ケーブルテレビポテト 11ch
毎週土曜日
午後1時～1時30分のうち、15分間

ラジオ

- **市からのお知らせ**
FMリバー FM83.7MHz
毎月第1～3木曜日
午後4時から約5分間